第２号様式の１４（第５条の１９関係）

２０２０年　１０月　１日

東京都知事　殿

住　　所　　東京都中央区京橋二丁目１６番１号

氏　　名　　清水建設株式会社
取締役社長　井上　和幸　　㊞

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

地球温暖化対策報告書提出書

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第８条の２３（第１項 ~~第２項~~）の規定により地球温暖化対策報告書を次のとおり提出します。

（地球温暖化対策事業者 温室効果ガス排出事業者）の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	清水建設株式会社 取締役社長　井上　和幸
（地球温暖化対策事業者 温室効果ガス排出事業者）の住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）	〒１０４－８３７０ 東京都中央区京橋二丁目１６番１号
地球温暖化対策報告書	別添のとおり
連絡先	総務部管財グループ　五十嵐　公一 k.iga@shimz.co.jp （電話番号　03-3561-1063　）
※受付欄	

（日本産業規格A列4番）

第9号様式 その1　　(表)

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	清水建設株式会社 取締役社長 井上 和幸
事業者番号	A 1 7 6 3

2 報告する事業所等の全体の状況(2019年度の状況)

条例第8条の23第1項報告事業所数	7	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	3,244	kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	18	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	184	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	6,552	t

4 評価の対象とする事業所

評価対象事業所	■	義務提出事業所	□	全事業所

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合計二酸化炭素排出量				7,022.00	6,195.00	t
合計延床面積				100,232.79	93,488.99	m^2
合計原単位				70.05691	66.26448	$kg\text{-}CO_2/m^2$

平均合計二酸化炭素排出量削減率	11.77	%
平均合計原単位改善率	5.41	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	SS	ランク

(日本産業規格A列4番)

（裏）

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無
合計二酸化炭素排出量削減率				%
合計原単位改善率				%
再生可能エネルギー導入事業所率				%
その他	特記事項に内容を記載			

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2

11 事業者としての取組

取組方針	地球環境憲章の理念にもとづき環境経営を推進することにより、建造物のライフサイクルのあらゆる段階を通じで社会と顧客の期待を超える「環境に調和した製品とサービス」を提供し、価値創造と持続的発展に寄与する。地球環境温暖化防止活動として、2030年度に1990年度比でCO2排出量を60%、2050年度に80%削減する、エコロジー・ミッション2030-2050に取り組んでいる。建設時のCO2削減のみならず、環境に優しい建設資材の採用や、省エネルギービルの推進といったサプライチェーン全体にわたる温暖化対策を実施、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入やCDMなどの海外での排出事業にも参画し、幅広い分野でCO2削減に貢献している。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築		
	A105	取組内容や点検体制の定期的改善		
	A114	温暖化対策優良事例の情報収集		

12 特記事項

2018年度提出時から対象事業所について作成要領に基づき見直しを実施。事業所の賃借状況は時々刻々と変動するため昨年度との比較に留めることとする。

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	兼松ビル別館
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名：中央区 町名番地以下：京橋二丁目17番5号
事業所等の延床面積	2,886.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新規

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 28	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 53	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 53	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 18.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	110,056.0	9.97	1,097.3	0.489	53.8
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 1,097.3		⑮ 53.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク		CO_2削減率(前年度比)			%
	CO_2排出量(延床面積当たり)			$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量(総量)			t
	その他	特記事項に内容を記載							

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿島ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名：中央区 町名番地以下：京橋一丁目19-2
事業所等の延床面積	74.97 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 2	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 4	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 4	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 53.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	8,701.0	9.97	86.7	0.489	4.3
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 86.7		⑮ 4.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	61.9			0.251	0.0
	公共下水道	□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等（選択）						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	富国生命ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 0 0 － 0 0 1 1　区市町村名 千代田区 町名番地以下 内幸町二丁目2番2号
事業所等の延床面積	905.28 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 27	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 53	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 53	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	108,616.3	9.97	1,082.9	0.489	53.1
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,082.9		⑮ 53.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	宝町三清ビル
事業所番号	A 1763 − 0004
事業所等の所在地	〒 104 − 0031　区市町村名 中央区 町名番地以下 京橋二丁目13番11号
事業所等の延床面積	208.04 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 8	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 15	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 15	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.1	kg-CO_2/m²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	32,596.0	9.97	325.0	0.489	15.9
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計						⑭ 325.0		⑮ 15.9
その他	水道及び工業用水道	□	m³	160.0			0.251	0.0
	公共下水道	□	m³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	宝町清水ビル												
事業所番号	A	1	7	6	3	－	0	0	0	5			
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	3	1	区市町村名	中央区		
	町名番地以下	京橋二丁目18番3号											
事業所等の延床面積	340.82	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有											
報告範囲	□ 建物の全部	■ 建物の一部（テナント）	□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設（物販）	□ 商業施設（飲食）										
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 低炭素電力の受入	□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 6	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 11	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 11	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 32.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	24,073.0	9.97	240.0	0.489	11.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 240.0		⑮ 11.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	201.0			0.251	0.1
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シーバンス(S館)倉庫
事業所番号	A 1 7 6 3 − 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 1 0 5 − 0 0 2 3　区市町村名 港区 町名番地以下 芝浦1−2−3
事業所等の延床面積	798.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新規

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 1	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 1.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,608.4	9.97	26.0	0.489	1.3
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 26.0		⑮ 1.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	兼松ビル
事業所番号	A 1763 − 0007
事業所等の所在地	〒 104 − 0031　区市町村名：中央区 町名番地以下：京橋二丁目18番4号
事業所等の延床面積	1,011.81 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 19	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 37	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 37	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 36.5	kg-CO_2/m²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	77,551.0	9.97	773.2	0.489	37.9
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 773.2		⑮ 37.9
その他	水道及び工業用水道		□	m³	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m³	0.0			0.439	0.0
合計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヨシザワビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 0 8
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名 中央区 町名番地以下 京橋二丁目17番3号
事業所等の延床面積	227.72 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 5	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 9	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 9	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 39.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	19,938.0	9.97	198.8	0.489	9.7
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 198.8		⑮ 9.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	69.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計									⑮ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	山王パークタワー
事業所番号	A 1763 － 0009
事業所等の所在地	〒 100 － 6100　区市町村名 千代田区 町名番地以下 永田町2-11-1
事業所等の延床面積	14,952.04 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 387	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 736	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 20	t
	総　計(④=②+③)	④ 756	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	1,506,549.0	9.97	15,020.3	0.489	736.7
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 15,020.3		⑮ 736.7
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	29,290.0			0.251	7.4
	公共下水道	□	m^3	29,290.0			0.439	12.9
合　計								⑯ 20.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理		
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	飯田橋アイマークビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 1 0
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：飯田橋3-20-22
事業所等の延床面積	8,917.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 436	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 829	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 831	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 92.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	1,696,400.0	9.97	16,913.1	0.489	829.5
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 16,913.1		⑮ 829.5
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	10,167.0			0.251	2.6
	公共下水道	□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計								⑮ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理		
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ガーデニエール砧(商業棟)
事業所番号	A 1763 − 0011
事業所等の所在地	〒 157 − 0073　区市町村名：世田谷区 町名番地以下：砧2-3103-1他
事業所等の延床面積	10,128.00 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 548	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,058	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,062	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 104.4	kg-CO_2/m²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	1,690,977.0	9.97	16,859.0	0.489	826.9
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	473,069.0	9.28	4,390.1	0.489	231.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 21,249.1		⑮ 1,058.2
その他	水道及び工業用水道	□	m³	7,159.0			0.251	1.8
	公共下水道	□	m³	7,159.0			0.439	3.1
合　計								⑯ 4.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理		
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新橋アイマーク			
事業所番号	A 1 7 6 3 − 0 0 1 2			
事業所等の所在地	〒 1 0 5 − 0 0 0 4	区市町村名	港区	
	町名番地以下	新橋2丁目6−2		
事業所等の延床面積	9,243.00 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有		
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)	
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他	
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 低炭素電力の受入	□ 証書による環境価値の利用	
前年度の報告内容からの変更点				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 390	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 742	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 748	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.2	kg-CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	1,519,329.0	9.97	15,147.7	0.489	743.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,147.7		⑮ 743.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,209.0			0.251	2.3
	公共下水道		□	m^3	9,209.0			0.439	4.0
合　計									⑯ 6.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理		
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	秋葉原アイマークビル
事業所番号	A 1 7 6 3 − 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 1 0 − 0 0 1 6　区市町村名　台東区 町名番地以下　台東1−30−7
事業所等の延床面積	16,014.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 359	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 684	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 688	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	1,399,016.0	9.97	13,948.2	0.489	684.1
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 13,948.2		⑮ 684.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,743.0			0.251	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,743.0			0.439	3.0
合 計									⑯ 4.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理		
		C817	季節に応じた温度設定の見直し		
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日本橋五所ビル
事業所番号	A 1763 － 0014
事業所等の所在地	〒 103 － 0022　区市町村名 中央区 町名番地以下 日本橋室町一丁目2番20
事業所等の延床面積	439.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 12	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 23	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 23	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	47,812.0	9.97	476.7	0.489	23.4
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 476.7		⑮ 23.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	182.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	182.0			0.439	0.1
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	兼松ビルディング(人事・教育)
事業所番号	A 1 7 6 3 − 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 0 4 − 0 0 3 1　区市町村名 中央区 町名番地以下 京橋2丁目14番1号
事業所等の延床面積	505.90 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 □ 1年度分 ■ 1年未満
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	年度途中での事業所廃止

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 6	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 12	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 12	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 23.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	25,896.0	9.97	258.2	0.489	12.7
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計						⑭ 258.2		⑮ 12.7
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道	□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	須永ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 1　区市町村名：中央区 町名番地以下：新富二丁目2番11号
事業所等の延床面積	71.10 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 1	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 14.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	3,806.0	9.97	37.9	0.489	1.9
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 37.9		⑮ 1.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	23.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	162ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 2　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋室町一丁目6-2
事業所等の延床面積	1,295.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 15	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 29	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 29	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 22.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	61,287.0	9.97	611.0	0.489	30.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 611.0		⑮ 30.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東京木工場
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 3 5 － 0 0 4 2　区市町村名 江東区 町名番地以下 木場二丁目15番3号
事業所等の延床面積	5,555.95 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部（テナント） □ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設（物販） □ 商業施設（飲食） ■ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 129	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.2	kg-CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	576.2	45.00	25.9	0.014	1.3
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	263,195.0	9.97	2,624.1	0.489	128.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,650.0		⑮ 130.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,228.0			0.251	0.3
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ものづくり研修センター
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 1 9
事業所等の所在地	〒 1 3 5 － 0 0 4 2　区市町村名 江東区 町名番地以下 木場二丁目15番3号
事業所等の延床面積	940.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 16	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 32	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 32	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 34.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	65,608.0	9.97	654.1	0.489	32.1
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 654.1		⑮ 32.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	689.0			0.251	0.2
	公共下水道		□	m^3	689.0			0.439	0.3
合 計									⑮ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	鈴春ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 2 0
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 1 2　区市町村名 立川市 町名番地以下 曙町二丁目7番16号
事業所等の延床面積	657.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 26	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 49	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 49	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	101,352.0	9.97	1,010.5	0.489	49.6
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,010.5		⑮ 49.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	445.7			0.251	0.1
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	八王子東京海上日動ビル			
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 2 1			
事業所等の所在地	〒 1 9 2 － 0 0 8 1	区市町村名	八王子市	
	町名番地以下	横山町1番6号		
事業所等の延床面積	68.67 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有		
報告範囲	□ 建物の全部	■ 建物の一部（テナント）	□ 建物の一部（その他）	
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設（物販）	□ 商業施設（飲食）	
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他	
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 低炭素電力の受入	□ 証書による環境価値の利用	
前年度の報告内容からの変更点				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 3	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 43.6	kg-CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	6,419.0	9.97	64.0	0.489	3.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 64.0		⑮ 3.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	朝日生命府中ビル
事業所番号	A 1 7 6 3 － 0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 8 3 － 0 0 5 5　区市町村名 府中市 町名番地以下 府中町1丁目14番1号
事業所等の延床面積	64.72 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	□ 自己所有 ■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0 6 0 0　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 1	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 15.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,675.0	9.97	26.7	0.489	1.3
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 26.7		⑮ 1.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニホンバシビル
事業所番号	A 1763 − 0023
事業所等の所在地	〒 103 − 0027　区市町村名 中央区 町名番地以下 日本橋1-2-8
事業所等の延床面積	1,051.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 □ 1年度分 ■ 1年未満
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 低炭素電力の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 2	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 4	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 4	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 3.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	9,827.0	9.97	98.0	0.489	4.8
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 98.0		⑮ 4.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合 計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等(選択)						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大基ビル												
事業所番号	A	1	7	6	3	−	0	0	2	4			
事業所等の所在地	〒	1	0	4	−	0	0	3	2	区市町村名	中央区		
	町名番地以下	八丁堀三丁目11番12号											
事業所等の延床面積	248.81	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有											
報告範囲	□ 建物の全部	■ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)										
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 低炭素電力の受入	□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 11	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 20	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 20	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	42,894.0	9.97	427.7	0.489	21.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 427.7		⑮ 21.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	147.7			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	147.7			0.439	0.1
合計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4. 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%	
	CO_2排出量(延床面積当たり)		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	技術研究所
事業所番号	A 1763 − 0025
事業所等の所在地	〒 135 − 0044　区市町村名：江東区 町名番地以下：越中島3丁目4番17号
事業所等の延床面積	28,679.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	0600　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,056	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,017	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,025	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 70.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	222,454.3	45.00	10,010.4	0.014	499.2
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	1,489.7	36.70	54.7	0.019	3.7
	その他( )	□		0.0				
	その他( )	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間(8時～22時)	□	kWh	3,098,017.0	9.97	30,887.2	0.489	1,514.9
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 40,952.3		⑮ 2,017.8
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	12,644.0			0.251	3.2
	公共下水道	□	m^3	12,644.0			0.439	5.6
合　計								⑯ 8.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
		A502	ビルで設置する推進体制への協力	A501	ビル所有者の対策や要請に協力
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

目標値等（選択）						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg-CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項